

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

3-20

3-20

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	佐渡市世界遺産推進基金の活用
	節			
事業(施策)名	20 佐渡市世界遺産推進基金の運用	事業主体	佐渡市世界遺産推進課	
			事業実施期間	H28～H34
事業概要	【事業目的】 基金を活用し、各種民間団体等による資産の保全活動等の推進を図る。			
	【事業内容】 基金拡充に向けた啓発活動と民間団体等による保全活動への支援を行う。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 地域振興課と連携し、年1回準市民へ基金パンフを送付するとともに、佐渡市における島外でのイベントなどで基金パンフを配布することにより周知を図る。			
	【29年度実績】 各種イベント等において、基金募集を行った。			
課題・今後の取組	【課題】 基金拡充に向けて、更なる周知を行うとともに、構成資産の保全と保護の重要性を島内外の方々に周知徹底することが必要である。			
	【今後の取組】 基金拡充に向けて寄付が容易にできるシステムを構築するため、システムの周知が進んでいる「ふるさと納税」との連携を図り、県内外の方へ一層の周知を図る。			
事業評価	【事業の達成度】 { a (b) · c }			
	【事業実施の効果】 { a (b) · c }			
	【総合評価】 { A (B) · C }			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。